

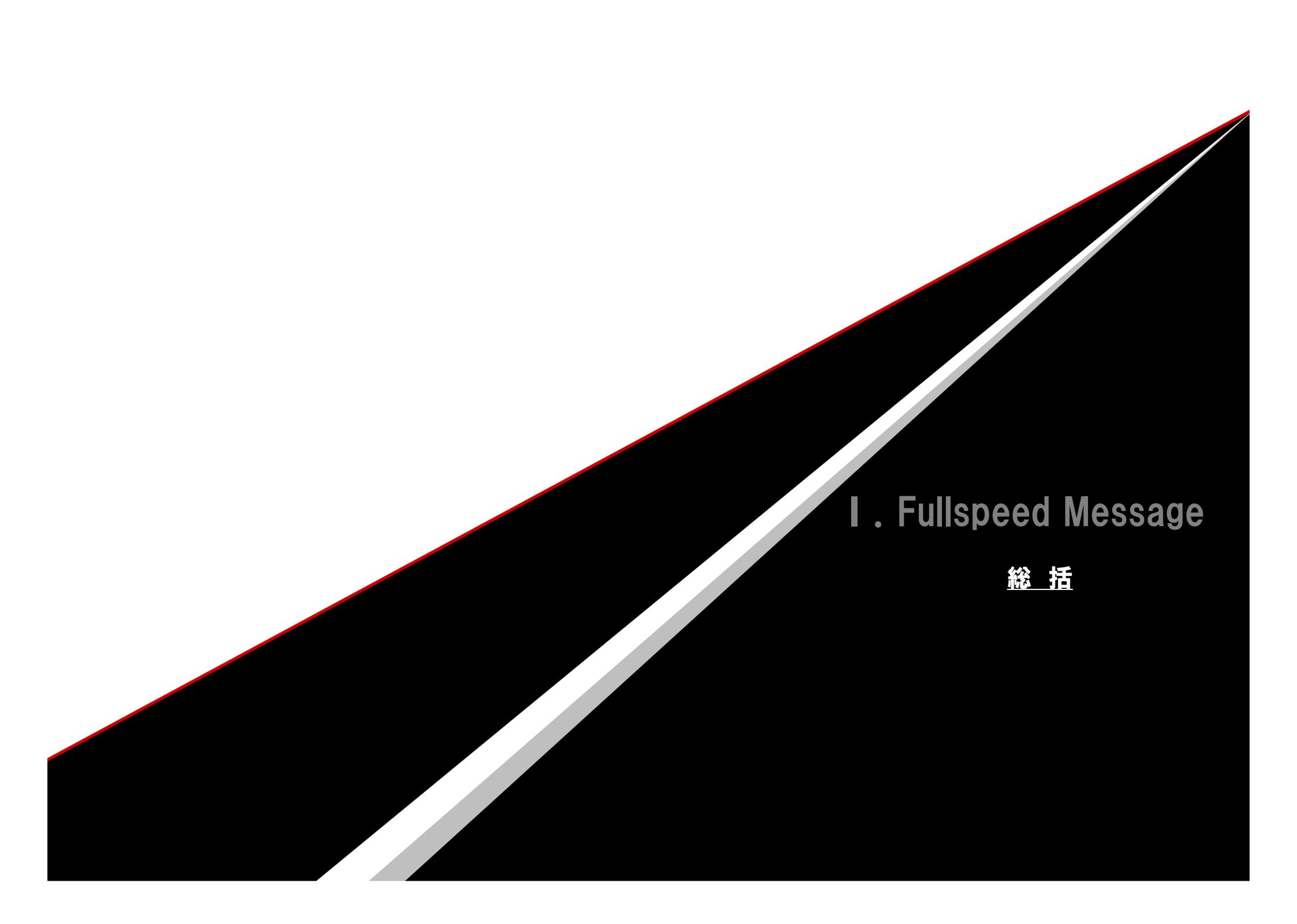
FULLSPEED

Corporate Presentation

2009.12.11

2010年7月期第1四半期 決算説明資料
(2009年8月-2009年10月)

■ I - Fullspeed Message 総括	
01. 総括	3
■ II - Financial Results 2010年7月期第1四半期決算報告	
01. 2010年7月期第1四半期決算 連結業績サマリー	5
02. 2010年7月期第1四半期連結決算概要- 対前年同期比	6
03. 連結決算概要①- 事業セグメント別売上高の推移	7
04. 連結決算概要②- 事業セグメント別収益構成	8
05. 連結決算概要③- 貸借対照表の概況	9
06. 事業別概況- Web戦略支援事業 ①SEO	10
07. 事業別概況- Web戦略支援事業 ②リスティング広告	11
08. 事業別概況- アフィリエイト広告事業	12
09. 事業別概況- EC (法人向け/消費者向け)	13
10. 事業別概況- その他	14
■ III - Earnings Forecast 2010年7月期業績計画	
01. 2010年7月期 通期連結業績計画	16
02. 2010年7月期配当予想	17
■ IV - Fullspeed Strategies フルスピードの今期戦略	
01. フルスピードの今期ビジョン	19
02. 法人向け総合サービス企業を目指す意義①	20
03. 法人向け総合サービス企業を目指す意義②	21
04. 法人向け総合サービス企業に向けた取り組み	22
■ V - Future of FS Group 今後のフルスピードグループ	
01. フルスピードグループ	24
02. フルスピードグループの成長イメージ	25
■ VI - Appendix 参考資料	
Appendix I. 社員数の推移	27
Appendix II. 株主保有状況 (2009年7月31日現在)	28



I . Fullspeed Message

総括

2010年7月期第1四半期決算を終えて

■ 2010年7月期の業績計画に対し、順調に推移

景気減速等の影響を受けた厳しい状況から回復基調であることに変わりなく、2010年7月期第1四半期の営業利益の水準は計画値に対して、順調に推移しています。

■ 季節要因(8月)により、今期1Qの売上は前期4Qと同水準で推移したものの、足元は好調

8月はお盆休みの企業が多く、営業の実働日数が少なくなる等、每期売上が前期4Qから横ばいで推移する傾向があることを当社では季節要因のひとつとして捉えています。今期も同様の要因により8月は低調となりましたが、足元は好調に推移しています。

■ 組織変更や人員整理等の影響により、1Q末時点において社員数は減少

2010年7月期1Q末における社員数： 連結236名(2009年7月期末比-11名) 単体202名(2009年7月期末比-9名)
前期中に売却した子会社(株)ムーブの社員分が減少したことに加えて、組織変更や人員整理等の影響により、グループ全体の社員数は一時的に減少しました。現在、新体制が整い積極的に採用活動を進めており、社員数は増加する見込みです。 → 社員数の推移は、P.27を参照



II. Financial Results

2010年7月期第1四半期決算報告

II-01**2010年7月期第1四半期決算 連結業績サマリー****収益の概況**

- **売上高**
 - 積極的な営業活動に努めたものの、**前年同期比6.0%減**
- **営業利益**
 - 前期4Qに引き続き、コスト低減に努めた結果、**販売費及び一般管理費は前年同期比2.3%減**
 - 販売費及び一般管理費は減少したものの、減収に伴い売上総利益が減少したことにより、**営業利益は前年同期比21.0%減**
- **特別利益/特別損失**
 - EC事業における前期損益修正益や貸倒引当金戻入益等の特別利益、投資有価証券評価損等の特別損失を計上
 - 上記の結果、**当第1四半期純利益は前年同期比31.1%増**

1Q 主なピックアップ

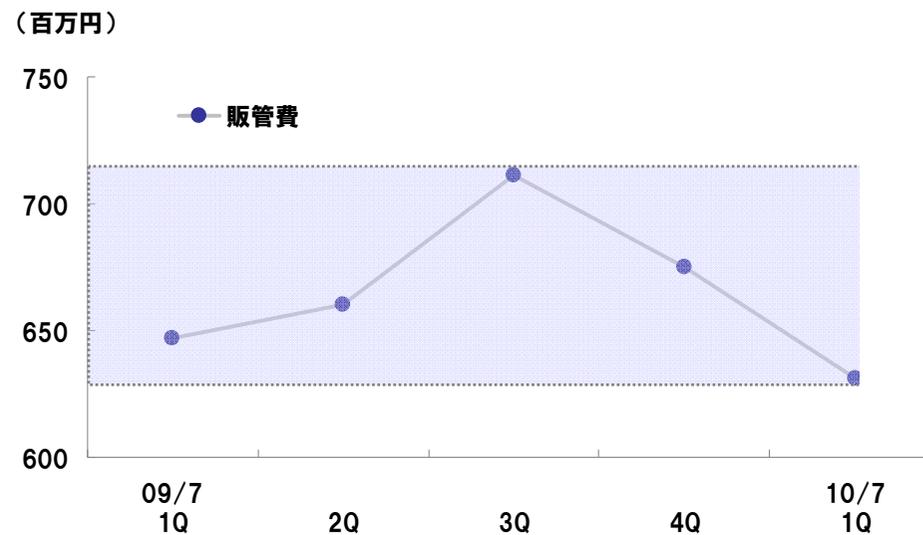
- ① 現状の株価水準や当面の資金需要等を総合的に勘案した結果、メリルリンチ日本証券に割当した新株予約権を買い戻し、エクイティ・コミットメントライン(行使価額条項付第1回新株予約権)を消却。潜在株式数は減少
- ② 2009年10月より、「アフィリエイトB モバイル」のサービスを開始、顧客数は順調に増加中
- ③ サイト売買事業の展開を目的とし、当社を含め3社で合併会社(株)WebAGEを設立
 - 出資比率:当社33.3%、(株)フリーセル33.3%、(株)ライフコンシャス33.3%

【単位：百万円、以下切捨て】

	2009/7 1Q	2010/7 1Q	前年同期比
売上高	3,368	3,165	-6.0%
売上総利益	834	780	-6.5%
<i>売上総利益率</i>	<i>24.8%</i>	<i>24.7%</i>	
販管費	647	631	-2.3%
<i>販管费率</i>	<i>19.2%</i>	<i>20.0%</i>	
営業利益	187	148	-21.0%
<i>営業利益率</i>	<i>5.6%</i>	<i>4.7%</i>	
経常利益	180	150	-16.7%
<i>経常利益率</i>	<i>5.4%</i>	<i>4.7%</i>	
当期純利益	40	53	+31.1%
<i>当期純利益率</i>	<i>1.2%</i>	<i>1.7%</i>	

当第1四半期の売上は減少したものの、
引き続き徹底したコスト低減に努めたことにより、
販管費の更なる削減に成功

■ 四半期別販管費の推移



【単位:百万円、以下切捨て】

事業セグメント	2009/7 1Q		2010/7 1Q		前年同期比
	金額	構成比	金額	構成比	
SEO	529	15.7%	451	14.3%	-14.8%
リスティング広告	1,381	41.0%	1,086	34.3%	-21.4%
その他広告代理	121	3.6%	108	3.4%	-10.2%
付加サービス	42	1.3%	65	2.1%	+54.1%
Web戦略支援事業	2,075	61.6%	1,713	54.1%	-17.5%
アフィリエイト広告事業	383	11.4%	532	16.8%	+38.7%
Webサイト運営・販売	23	0.7%	1	0.1%	-91.9%
EC合計	460	13.7%	289	9.1%	-37.1%
法人向けEC	-	-	114	3.6%	-
消費者向けEC	-	-	175	5.5%	-
インターネットメディア事業	484	14.4%	291	9.2%	-39.8%
データセンター事業	159	4.7%	158	5.0%	-0.5%
その他事業	274	8.1%	483	15.3%	+75.9%
消去又は全社	-8	-0.2%	-13	-0.4%	-
連結合計	3,368	100.0%	3,165	100.0%	-6.0%

- 景況感が悪化する以前の前期1Qと比較した場合、各商材の売上は減少しているものの、前期4Qからの回復基調であることに変わりはなく、足元はSEOを中心に順調に受注が拡大
- 今期1Qより事業の名称等を一部変更

①Webコンサルティング事業→Web戦略支援事業 ②情報サイト事業→Webサイト運営・販売 ③EC事業→法人向けEC、消費者向けECに分割して記載

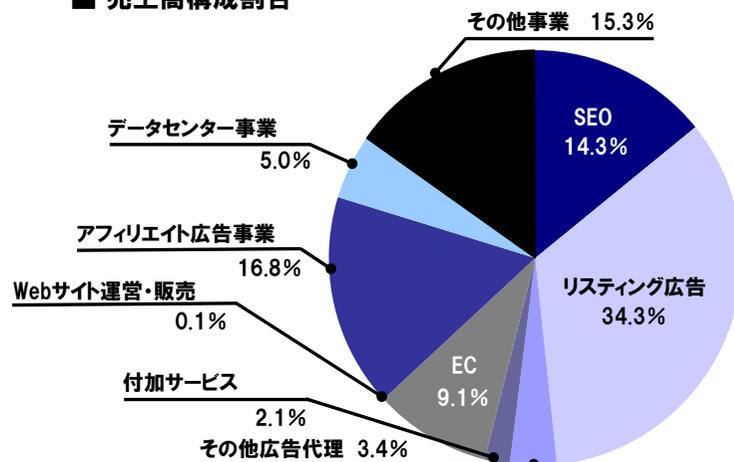
II-04

連結決算概要②- 事業セグメント別収益構成

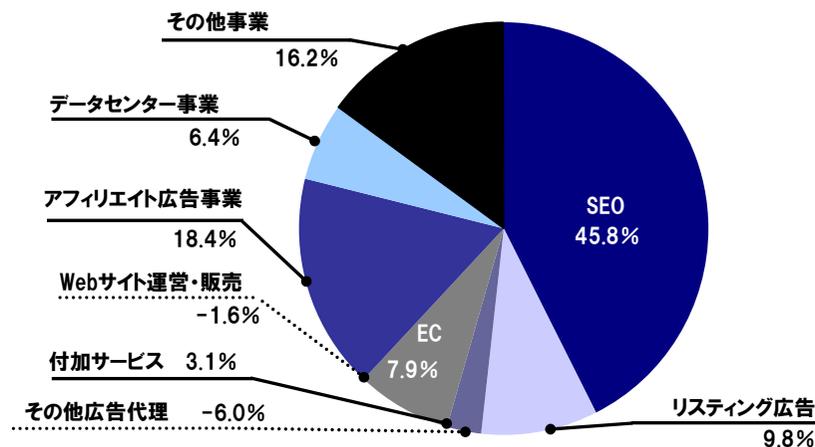
【単位:百万円、以下切捨て】

事業セグメント	売上高	構成比	売上総利益	売上総利益率	売上総利益構成比
SEO	451	14.3%	357	79.1%	45.8%
リスティング広告	1,086	34.3%	76	7.0%	9.8%
その他広告代理	108	3.4%	-46	-43.1%	-6.0%
付加サービス	65	2.1%	23	36.2%	3.1%
Web戦略支援事業	1,713	54.1%	410	24.0%	52.6%
アフィリエイト広告事業	532	16.8%	143	27.0%	18.4%
Webサイト運営・販売	1	0.1%	-12	-646.3%	-1.6%
EC合計	289	9.1%	61	21.3%	7.9%
法人向けEC	114	3.6%	31	27.7%	4.0%
消費者向けEC	175	5.5%	30	17.2%	3.9%
インターネットメディア事業	291	9.2%	49	17.0%	6.4%
データセンター事業	158	5.0%	50	31.7%	6.4%
その他事業	483	15.3%	126	26.1%	16.2%
消去又は全社	-13	-0.4%	0.3	-	-0.05%
連結合計	3,165	100.0%	780	24.7%	100.0%

■ 売上高構成割合



■ 売上総利益構成割合



II-05

連結決算概要③-貸借対照表の概況

【単位:百万円、以下切捨て】

■ 資産の部

	2009/7 (期末①)	2009/10 (1Q末②)	増減 (②-①)
現金及び預金	1,680	1,857	+177
受取手形および売掛金	1,942	1,787	-155
未収入金	115	62	-53
商品	80	75	-5
その他	469	536	+67
流動資産合計	4,286	4,317	+31
建物(純額)	233	244	+11
工具器具備品(純額)	270	293	+23
土地	172	172	0
その他(純額)	11	18	+7
有形固定資産	686	727	41
のれん	837	884	+47
その他	103	104	+1
無形固定資産	940	988	48
投資有価証券	1,431	1,388	-43
差入保証金	467	464	-3
繰延税金資産	54	93	+39
その他	162	179	+17
投資その他の資産	2,114	2,124	+10
固定資産合計	3,742	3,839	+97
総資産	8,028	8,156	+128

主に第1四半期中の利益増加と売掛金の減少による

前期4Qの売掛金を回収したことによる

■ 負債・純資産の部

	2009/7 (期末①)	2009/10 (1Q末②)	増減 (②-①)
買掛金	922	934	+12
短期借入金	2,550	2,550	0
1年内返済長期借入金	394	412	+18
未払金	177	121	-56
未払法人税等	108	60	-48
その他	90	166	+76
流動負債合計	4,241	4,243	+2
長期借入金	670	702	+32
その他	131	235	+104
固定負債合計	801	937	+136
負債合計	5,042	5,180	+138
資本金	691	691	0
資本剰余金	662	662	0
利益剰余金	1,527	1,537	+10
株主資本合計	2,880	2,890	+10
純資産合計	2,985	2,975	-10
負債純資産合計	8,028	8,156	+128

子会社の借入による増加

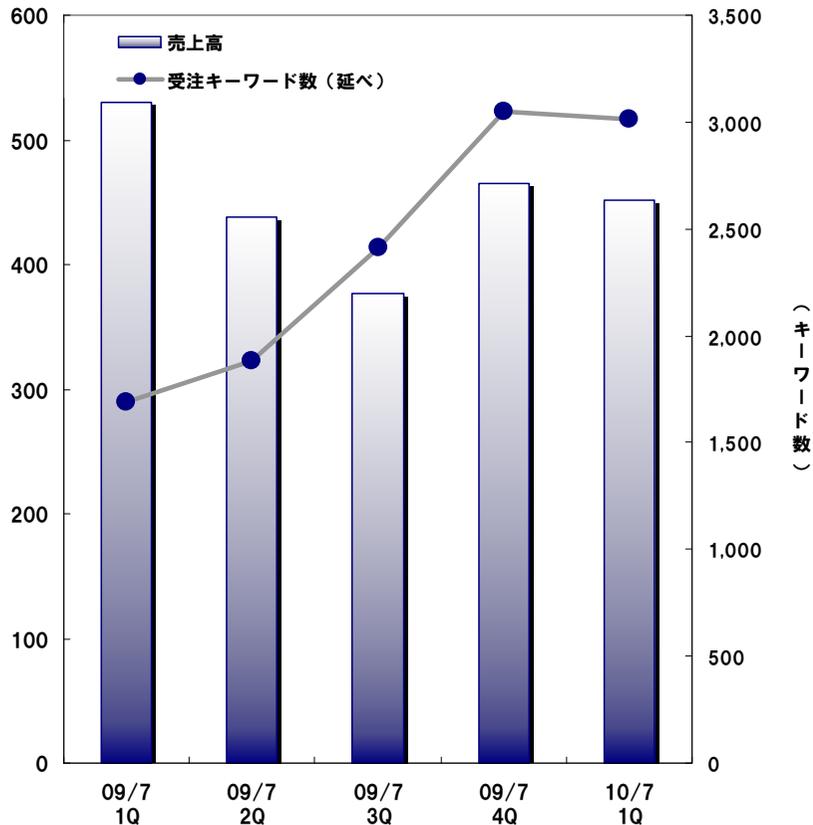
主にはメリルリンチ日本証券から買い戻した新株予約権の消却による

2010年7月期1Q 451百万円 前年同期比 -14.8%

2009年7月期1Q 529百万円

■ 四半期別売上高・受注キーワード数の推移

(百万円)



■ 顧客数・受注キーワード数の推移

【顧客数の推移】

09/7-1Q	09/7-2Q	09/7-3Q	09/7-4Q	10/7-1Q
519	600	790	1,040	1,013

【受注キーワード数(延べ)の推移】

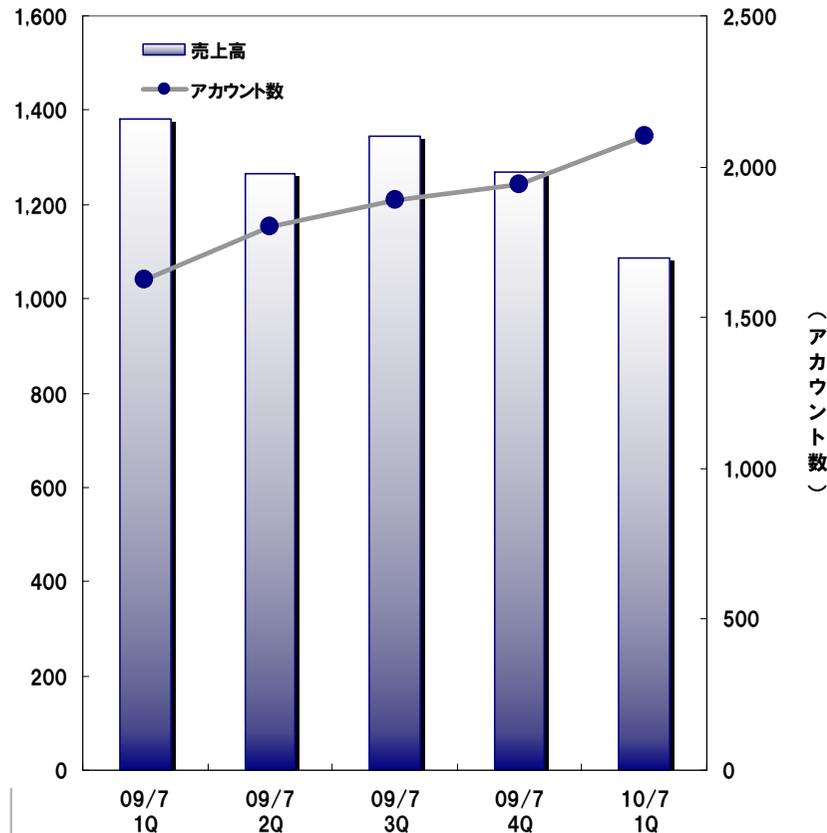
09/7-1Q	09/7-2Q	09/7-3Q	09/7-4Q	10/7-1Q
1,688	1,879	2,413	3,049	3,014

TOPICS

- ① 8月の低調に加え、子会社において期間契約が終了した案件が増加したこと等により、前期4Qと比較し、一時的に売上が減少
- ② フルスピード単体の1Q売上は、季節要因を踏まえ前期4Qと比較しほぼ横ばいで推移(期初計画どおりの推移)
- ③ 11月より新サービス群の販売を開始するなど、拡販に注力
足元の受注は順調に推移

2010年7月期1Q 1,086百万円
前年同期比 -21.4%
2009年7月期1Q 1,381百万円

■ 四半期別売上高・アカウント数の推移
(百万円)



■ アカウント数の推移

【アカウント数の推移】

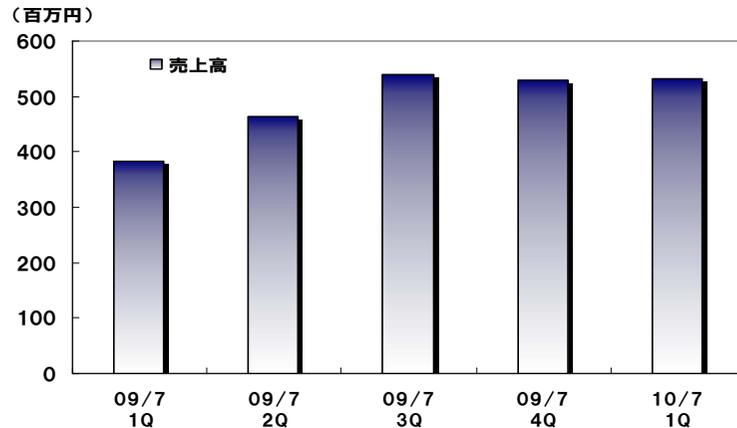
09/7-1Q	09/7-2Q	09/7-3Q	09/7-4Q	10/7-1Q
1,626	1,801	1,891	1,939	2,100

TOPICS

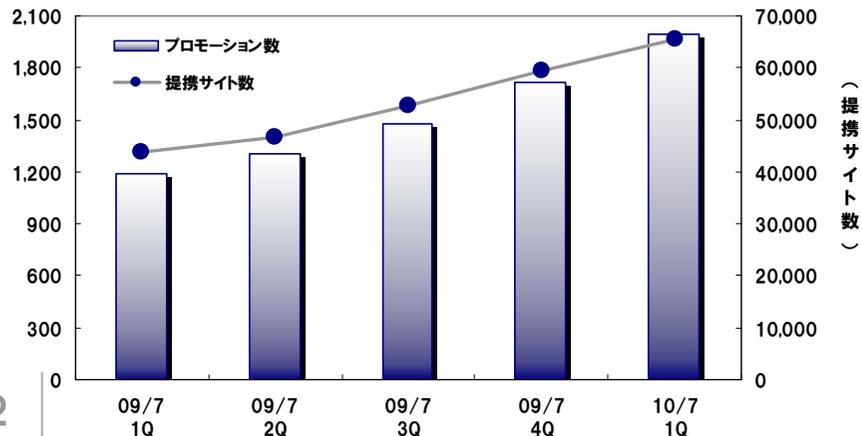
- ① 8月の低調に加え、運営体制の見直しのため、販売を一時控えたことにより、売上が減少
- ② 業務の一部を札幌に拠点を置く会社に外注する等、新たな運営体制が整い、2Q後半から拡販予定
- 外注の目的は、業務の効率化とコスト低減

2010年7月期1Q 532百万円
2009年7月期1Q 383百万円
前年同期比 +38.7%

■ 四半期別売上高の推移



■ プロモーション数・提携サイト数の推移



■ プロモーション数・提携サイト数の推移

【プロモーション数の推移】

09/7-1Q	09/7-2Q	09/7-3Q	09/7-4Q	10/7-1Q
1,185	1,303	1,478	1,712	1,992

【提携サイト数の推移】

09/7-1Q	09/7-2Q	09/7-3Q	09/7-4Q	10/7-1Q
43,832	46,739	52,799	59,596	65,406

TOPICS

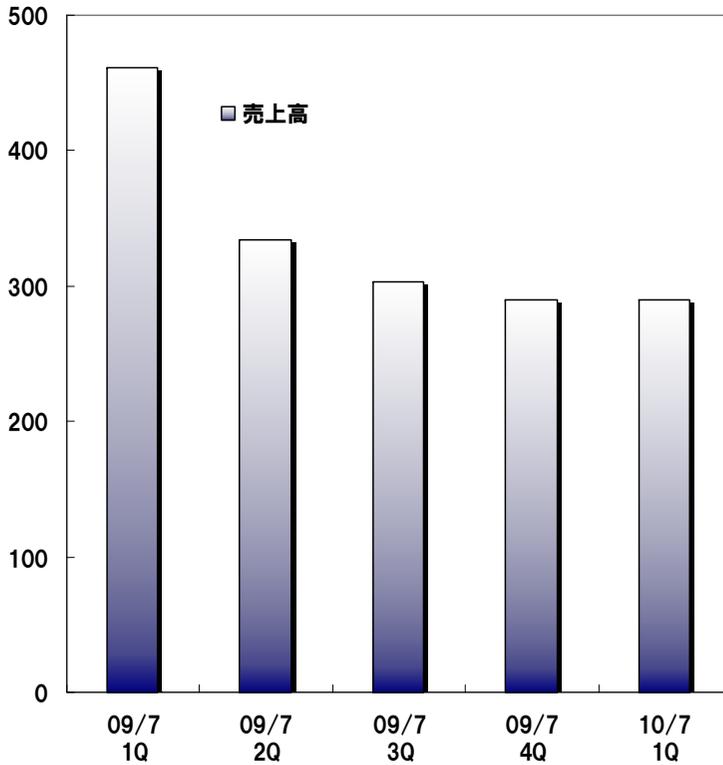
- ① クライアント数は伸びたものの、前期4Qに引き続き、特定業種(FX、レーシック)の環境的要因により、1Q売上は横ばいを継続
- ② 物販のあらゆる業種の開拓に注力した結果、プロモーション数は順調に増加
- ③ 10月よりモバイルサービスを開始、顧客ニーズは旺盛
→ ②③は2Q以降、売上貢献へ

■ 法人向けEC

2010年7月期1Q 114百万円

■ EC合計の推移

(百万円)



《EC事業の記載について》

EC事業の内訳をよりわかりやすく表記することを目的として、当第1四半期より法人向けECと消費者向けECに分割して記載することに変更しています。

なお、前期中に撤退したインターネットによる国内航空券販売事業の売上の区分が困難であること等により、前期との比較は行っておりません。

■ 消費者向けEC

2010年7月期1Q 175百万円

TOPICS

- ① 法人向けEC:9サイトを運営
消費者向けEC:3サイトを運営
→ベツコアメ・インターネットによるモバイルECの運営業務の受託
(4サイト分)も消費者向けECに含む
- ② 前期1Qと比較し、EC売上の大幅な減少は
前期中に国内航空券販売事業から撤退したことが主な要因
- ③ 自社で新たに法人向けの商材を扱うECサイトを企画し、
2Q後半から運営を開始予定

Webサイト運営・販売

2010年7月期1Q 1百万円
2009年7月期1Q 23百万円 前年同期比 -91.9%

TOPICS

- ① 今期1Qには、サイトの販売を行わず。
当事業の業績は、サイト販売の有無により大きく変動
- ② 前期4Qに大量にサイトを販売したため、広告収入は減少
- ③ 一旦休止していたサイト制作を再開する予定

情報サイト・販売サイト数の推移

【情報サイト数の推移】

09/7-1Q	09/7-2Q	09/7-3Q	09/7-4Q	10/7-1Q
171	175	145	24	24

【販売サイト数の推移】

09/7-1Q	09/7-2Q	09/7-3Q	09/7-4Q	10/7-1Q
0	5	21	121	0

《Webサイト運営・販売事業の方針について》

販売するサイトの対象は当社が企画開発したサイトに限定し、買収したサイトは販売の対象からは除外します。
なお、当第1四半期より情報サイト事業の名称をWebサイト運営・販売に変更しています。

データセンター事業

2010年7月期1Q 158百万円
2009年7月期1Q 159百万円 前年同期比 -0.5%

TOPICS

- ① 2010年7月期1Q末現在の稼働率は68.7%（前期末から変わらず）
- ② 新規顧客の開拓に注力し、受注は回復の兆し
- ③ ホスティングの需要は引き続き堅調に推移
 - 付加価値の高いホスティングサービスを試験的に導入
 - 顧客の反応を見ながら、本格的な導入へ



III. Earnings Forecast

2010年7月期業績計画

2010年7月期 連結業績計画

	第2四半期連結累計期間			通期		
	2009/7	2010/7		2009/7	2010/7	
	実績	計画	前年同期比	実績	計画	前年同期比
(単位:百万円)						
売上高	6,424	6,954	+8.3%	13,249	15,912	+20.1%
営業利益	223	204	-8.5%	642	961	+49.6%
営業利益率	3.5%	2.9%		4.9%	6.0%	
経常利益	218	182	-16.3%	613	921	+50.4%
経常利益率	3.4%	2.6%		4.6%	5.8%	
当期純利益	-152	68	-	105	411	+290.9%
当期純利益率	-2.4%	1.0%		0.8%	2.6%	
1株あたり当期純利益(円)	-1,083.32	476.52		743.20	2,884.92	

2010年7月期第1四半期における進捗について

- 当第1四半期決算は、第2四半期累計期間予算に対して順調に進捗
 - 売上高については、45%の進捗率。8月が季節要因により低調であることは、計画値に織り込み策定
 - 営業利益については、引き続きコスト削減に努めたことが奏功し、72%の進捗率
 - 経常利益は82%の進捗率、四半期純利益は77%の進捗率を達成

株主還元の方針

■ 半期ごとの連結当期純利益に対する配当性向20%程度を目安に、配当額を決定する方針

◎ 配当予想額

		2009/7	2010/7	
		実績	予想	増減
1株あたりの配当額 (円)	第2四半期末	0	100	+100
	期末	300	500	+200
	年間合計	300	600	+300
1株当たり当期純利益(円)		743.20	2,884.92	
配当性向		40.7%	20.8%	-

(参考) 半期ごとの配当性向

2009年7月期期末 :16.6% (実績) 2010年7月期第2四半期末 :21.0% (予想)
2010年7月期期末 :20.8% (予想)



IV. Fullspeed Strategies

フルスピードの今期戦略

FS Strategies

当社の最大の強み「営業力」を活かした事業展開

これまでの事業運営を通じて培った営業力が、今後の当社の成長を支える原動力

■ フルスピード企業理念

顧客企業をあらゆる角度から支援し、それを通じて、社会の維持・発展に貢献すること

社員ひとりひとりの成長と、社員ひとりひとりの幸せを重視すること

会社の規模の拡大とサービスの質の向上に、**スピードをもって**取り組むこと

■ 今期のビジョン

インターネット広告企業から**法人向け総合サービス企業**への「転換」を図る

FS Strategies

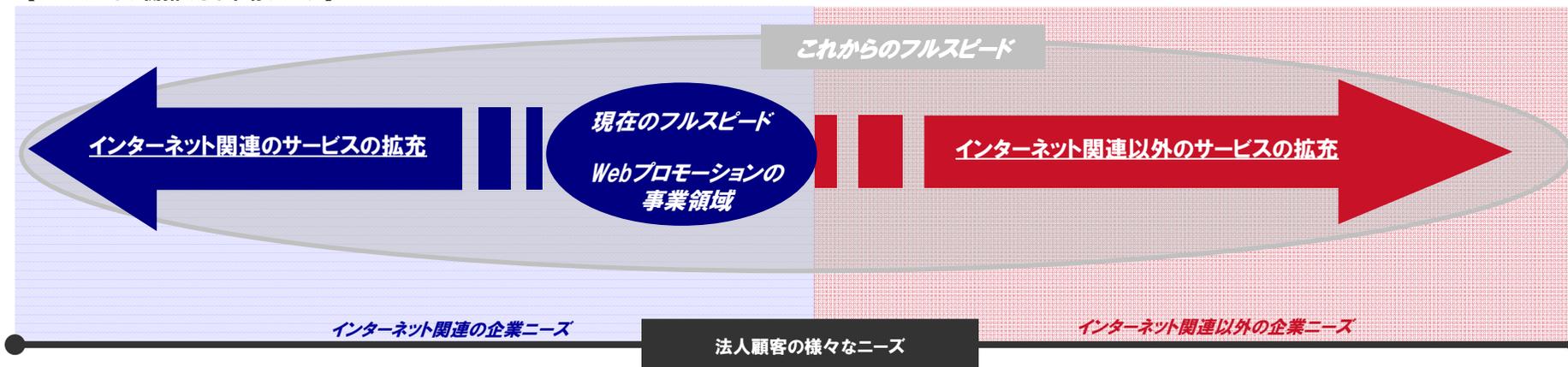
インターネット広告の同業他社とは一線を画する戦略に転換

インターネット関連に留まらず事業領域を広げることで、更なる成長を実現

法人顧客のニーズに対応した商材やサービスを拡充し、開拓できる市場を広げる

- ① 取扱う商材の範囲をインターネット関連以外にまで拡大
- ② インターネットに限らず顧客ニーズに対応していくことで、ターゲットとなる顧客が拡大

【フルスピードの開拓できる市場イメージ】



フルスピードが成長できる領域はまだまだ大きい

FS Strategies

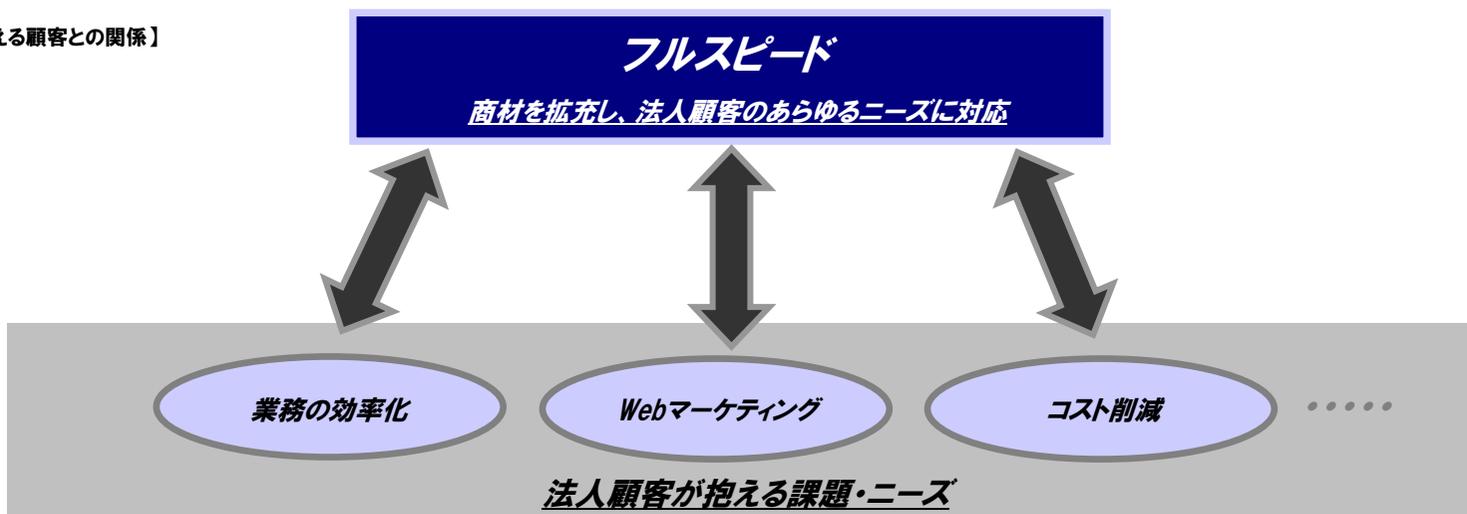
Web戦略支援で構築した顧客との関係を有効に活用した戦略

「顧客第一主義」を徹底し、顧客との関係強化、取引拡大に繋げる

顧客企業の視点に立ち、あらゆるニーズにワンストップで対応できる体制をめざす

- ① クロスセルを推進し、1顧客あたりの売上拡大
- ② 顧客の利便性を追求することで信頼関係を構築、長期取引に繋げる

【フルスピードが考える顧客との関係】



顧客企業の支援を通じて、フルスピードは更に企業から必要とされる存在へ

FS Strategies

インターネットの領域を超えた総合的なサービスの提供へ

強みである法人営業力を活かしたクロスセル戦略を実行

● **インターネット関連の商材に限ることなく、取り扱う商材を広範囲に拡大**

→ 2009.11.2 オフィス用品通信販売のエージェント事業を開始（アスクル(株)のエージェントとして）

11月中旬より本格的に営業開始、順調に会員数は増加中

→ 今後も、商材/サービスに加えて、顧客に総合的にメリットを提供できる販売戦略を目指す

● **販売後のきめ細やかな対応を重視し、バックオフィス機能を強化**

→ 顧客企業の緊急な依頼にも迅速に対応するため、カスタマーサポートグループを新設し始動

● **企業を対象とした会員制事業を開始予定**



V. Future of FS Group

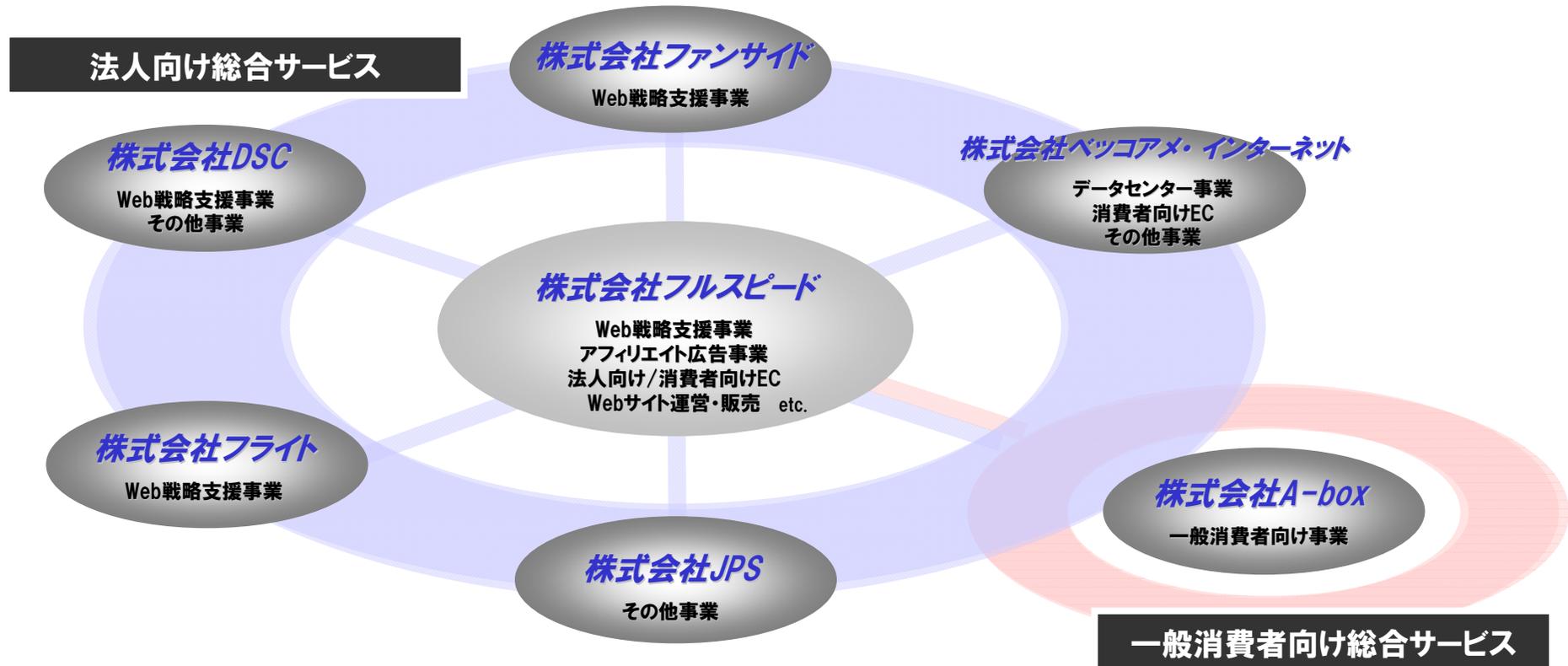
今後のフルスピードグループ

FS Group

現在、グループのうち5社は法人向けの事業を展開

次期以降の成長を見据え、一般消費者向けの事業展開の準備も開始。子会社を2009年8月に設立

■ フルスピードグループ



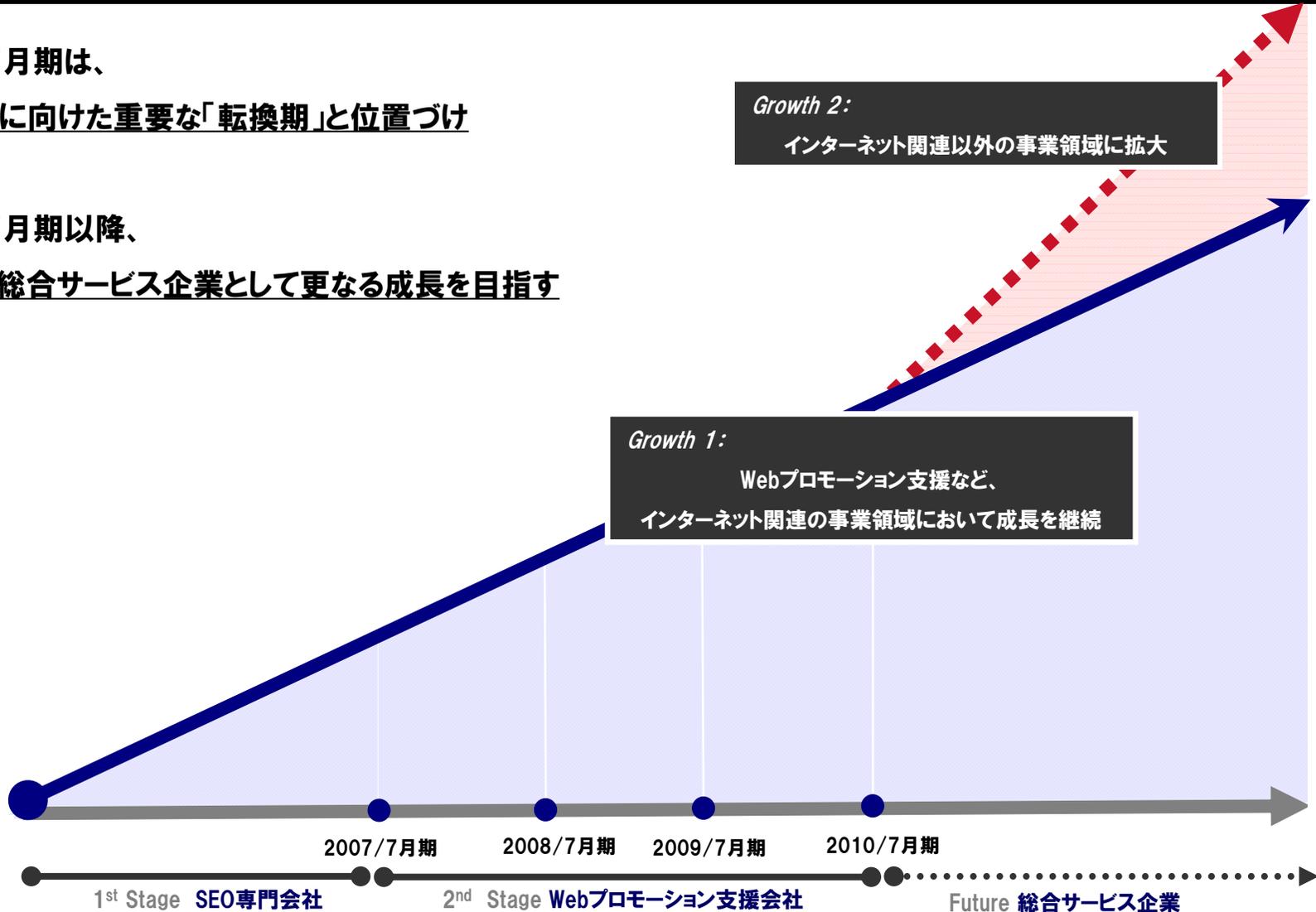
FS Growth Image 総合的にサービスを提供できる企業へ

2010年7月期は、
成長加速に向けた重要な「転換期」と位置づけ

2010年7月期以降、
法人向け総合サービス企業として更なる成長を目指す

Growth 2:
インターネット関連以外の事業領域に拡大

Growth 1:
Webプロモーション支援など、
インターネット関連の事業領域において成長を継続

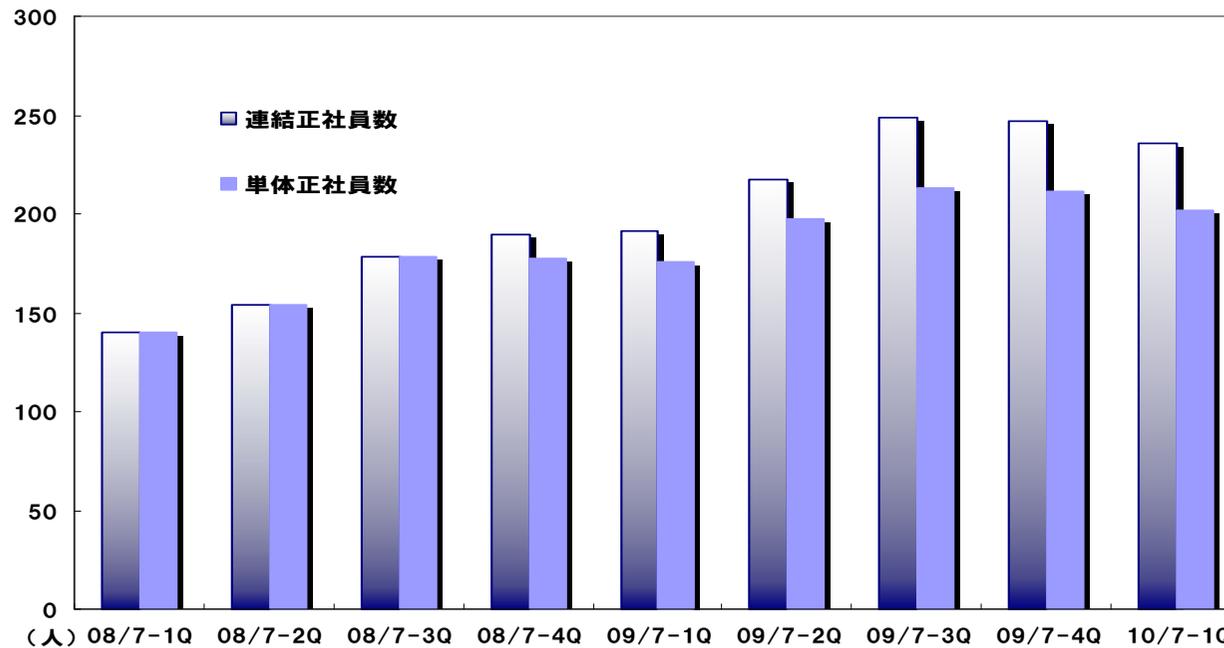


The image features a black background with a white diagonal line running from the bottom-left towards the top-right. A red curved line follows the upper edge of the black area, starting from the left and curving upwards towards the top-right corner. The text 'VI. Appendix' is positioned in the middle-right section of the black area, and the Chinese characters '參考資料' are located directly below it.

VI. Appendix

參考資料

社員数（連結・単体）の推移



■ 連結正社員数

08/7-1Q	08/7-2Q	08/7-3Q	08/7-4Q	09/7-1Q	09/7-2Q	09/7-3Q	09/7-4Q	10/7-1Q
140	154	178	190	191	217	249	247	236

■ 単体正社員数

08/7-1Q	08/7-2Q	08/7-3Q	08/7-4Q	09/7-1Q	09/7-2Q	09/7-3Q	09/7-4Q	10/7-1Q
140	154	178	177	176	197	213	211	202

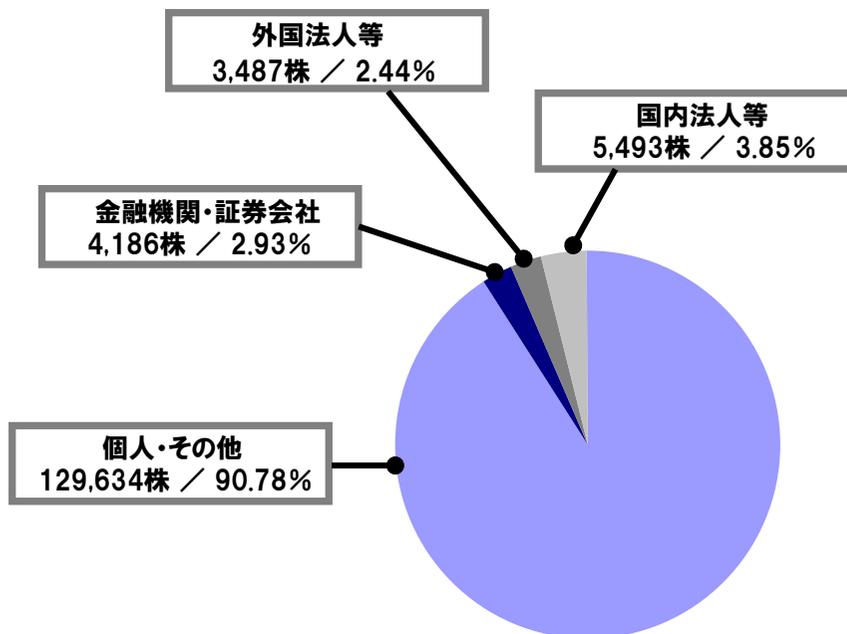
発行済株式の総数

142,800株

株主数

6,061名

■所有者別の状況



■大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
芳賀麻奈穂(当社代表取締役)※	91,140	63.82%
坂本剛(当社取締役)	2,000	1.40%
株式会社アドバンスクリエイト	1,750	1.23%
コムチュア株式会社	1,710	1.20%
DEUTSCHE BANK AG LONDON 610	1,019	0.71%
勝見千明(一般個人株主)	980	0.69%
BNP PARIBAS LONDON BRANCH BNPPPB EVOFUND TOK	614	0.43%
辻準(当社取締役)	600	0.42%
野村証券株式会社	600	0.42%
日本証券金融株式会社	563	0.39%

※ 当社代表取締役芳賀麻奈穂は、2009年7月28日付で、所有する当社株式のうち、4,000株を売却し、大量保有報告書を提出しております。2009年12月11日現在、持株数87,140株、持株比率は61.02%となります。

■IRお問い合わせ先

管理本部 企画・IR部

TEL: 03-5728-4460 / FAX:03-5728-4461

E-mail: ir@fullspeed.co.jp

本資料は株式会社フルスピードに関する情報提供を目的とし、投資家の皆様にご理解いただくために作成したものであり、当社が発行する有価証券に対する投資を勧誘することを目的としたものではありません。本資料を作成するにあたっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断したものであり、その情報の正確性、完全性を保証し、また確約するものではありません。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは異なる結果となることがあり、また予告なしに変更されることがある点を認識された上でご利用ください。